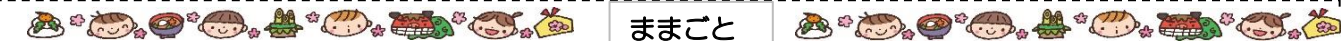


あけまして
おめでとう
ございます!

ご家族お揃いで楽しいお正月を迎えられたことと思います。今年も皆様が健康でしあわせな1年でありますよう、お祈り申し上げます。新しい年の始まり……何か素敵なことが起こりそうな期待感でいっぱいになりますね。お休み中、お家の方や親戚の人達とゆっくりと過ごしたり、お年玉をいただいたり、初詣に出かけたりして、子ども達はお正月ならではの経験を味わえたことでしょう。この一年が、お子様にとって、また保護者の皆様にとって笑顔がたくさん的一年になりますようにお祈り申し上げます。今年もどうぞよろしく申し上げます。

そして、1月より永易貴子先生の後を引き継いで、越智翔子(おちしょうこ)先生が後任を務めることになりました。翔子先生は現役3人の子育てをしながら、保育士の仕事も続けてきたベテランでもありますから、きっと皆さまの子育てアドバイザ―になっていただけるかと期待しております。皆さま、これからも変わらず1月からよろしくお祝い申し上げます。



『ままごと』と聞いて皆さまは何を連想されますか？・小さいころに誰でもした、ままごと遊び。お部屋の中だけでなく、友達と外の土や花や葉っぱを使っておかずやご飯を作ったりしたかもしれませんね。『ままごと』はいわゆる「ごっこ遊び」なので何の材料を使って何を作っても、どんな会話をして間違ひではありません。どのこども園、保育園、幼稚園に行っても必ずままごとコーナーができています。もしかしら、お家にもままごとコーナーやままごとセットがあるお家もあるかもしれません。私は西条市の西区の保育園やこども園を回らせていただいておりますが、ままごとコーナーを見るとその先生や園の「ねらい(願い)」が分かると言っても過言ではありません。ある園では、お寿司屋コーナーがあり「いらっしやい！何にしますか？」「エビをお願いします」とか、レストランやファーストフード店ごっこで、面白い遊びを展開している園もありました。それぞれの園で保育のねらい(願いもしくは目標)としてありますから、どんな遊びになっても楽しめます。しかし、本来の『ままごと』は、実は、家事の再現の練習なのです。練習と言うと何だか硬く聞こえますが、こどもは遊びとして、とらえていますから、私たち大人も遊びとして対応します。火にかけた鍋は触ると熱い！とか、包丁で具材を切る時には、猫の手のように丸めるとか、使った食器は洗剤をつけてスポンジで洗う。洗った食器は布きんで拭くとか……。保育士(お母さん)が再現して見せるのです。すると、子ども達もそれを真似をしながら、ままごとごっこが始まるのです。お母さんの料理をしている姿をよく見るお子さんは、その姿を見事に再現します。熱い鍋を触ったら『熱っ!!』と言いながら、耳たぶを触って冷やすみたいな様子を見せてくれるお子さんもいますが、家庭であまり料理をする姿を見せていないお子さんは、どうままごと道具を扱ったらいいのかかわからず、ぐちゃぐちゃにおもちゃを出して、おしまい！になんていうこともあります。お家の人がお料理をしないこと(見せていない)を責めているわけではありません。将来、大人になった時、経験をしていることは強みになります。鍋に油を入れて食材を炒め、塩コショウをするだけでお料理となりますし、お米は水で洗って水を入れて炊くとか、洗濯機に洗剤を入れて回すとか、アイロンを使う時には、やけどをしないように気をつける等、大人になったら急にできると思ったら、大間違いなのです。その方法を知っている、知らないままで大人になるでは、大きな違いが出てきます。ですから、遊びの中で保育士さんたちも家事のやり方を教えているのです。しかし、そんな目標がない保育士さんは、「カレーお願いします。ごちそうさま」で終わるのですが、考えをしっかりと持った保育士さんは、そのままごとの家庭の人数を想定してお皿やお椀、フォークやスプーンも4人家族なら4つそろえて料理を作る真似をして最後の洗い片付けまでして見せて、子ども達に自然に真似をしてもらっています。それが、遊びとして成立するのですから面白いでしょ。本当に子どもさんは、お家の人(保育士)のことをよく見ています。保育士さんの癖まで再現されている時があり、思わず笑ってしまうこともあります(笑) 保育アドバイザ―の井上さく子先生が『できれば本物を提供してください。100均で小さいサイズの食器やお鍋、急須、お玉などを用意するといいですよ。そして、食材はプラスチックでサンプル食材では無く、フェルトやチェーンリング、おはじきなど想像しながら、遊べる素材の方が、想像力を育み活発な脳活になる』と言われておられました。その通りだと私も思います。 垂水 知縫



越智ミドリ先生講演会
 「はじめの歩」
子どもの育ちを知ろう！知ると不安が少なくなる
 日時 1月29日(水) 10時から・・・
 場所 らっこ・はうす
 形態 親子で遊びながら聞いたり質問したりアドバイスをもらいます！
 人数把握の為、1月27日(月)までに、申し込みをお願いします。お待ちしております。

越智ミドリ先生を知っていますか？・もしかしら知っている人も知らない人もいるかもしれません。越智ミドリ先生は、公立保育所で40年間勤務されて、早くから園長先生に大抜擢された地域の逸材です。退職後は、思春期や障がいがある親子を支援したり、大学の保育科に要請され大学の講師としても活躍をされておりました。現在は、つどいの広場『くーちょきばー』を主宰され、親子支援や保育士育成事業も幅広くされて『保育の友』という全国誌にもアドバイザ―として保育の理論を掲載されている、地域の至宝と呼び声が高い、とても優しい先生です。子どもの発達筋道をとても優しく簡単に教えてくださる先生です。なぜ、私がこんなに越智ミドリ先生に詳しいかと言いますと、越智ミドリ先生の1年目の教え子が私、垂水知縫(たるみちぬい)だからです。ミドリ先生みたくになりたいと私は、この仕事を選びました。そして同じ職場で働く事が叶いました。そして、本当にいろいろミドリ先生から学びました。私はミドリ先生から出来ていると言っても過言ではないです。先生から定期的に学ぶ会をらっこ・はうすでも設けますので、是非来てください。今回は0歳児からの発達を学びます。『育て直し』も可能ですから1、2歳児のお子さんを育てているお母さんも是非聞きに来てください。お子さんを見ながらその発達を話してくれます。



月	火	水	木	金	土	日
		1 元旦	2 正月	3 正月	4	5
6	7	8	9	10	11	12
	園庭開放		赤ちゃんの日			
13 成人の日	14 園庭開放	15 	16 すすくくナビゲーター訪問日	17 	18	19
20 	21 園庭開放	22 	23 赤ちゃんの日	24 	25	26
	28 園庭開放	29 越智ミドリ先生講演会	30 	31 		

赤ちゃんの日
 小さな小さな子ども達とお母さんがゆったりと過ごせる『赤ちゃんの日』を設けています。11か月位までの赤ちゃん対象です。事前の申し込みは必要ありません。(松木典子先生のベビーマッサージ教室や育児相談等も行っています。)

☆らっこ・はうすの利用について

- * 未就園児をもつ親子・家族なら、どなたでもご利用いただけます。
- * らっこ・はうすは、月～金曜日(9:00～15:00)自由な遊び場として利用できます。
 ・お部屋は、9:00～11:30 園庭は、9:00～15:00
 (※園庭をご利用の方は、正面入り口で受付をしてください。)
- * 職員は、午後からは職員室に多いことが多く、声をかけてください。
- * 火曜日は、園庭のみ開放しております。
- * 1カ月に1回程度、年齢別の子育てサークル「てくてく」や異年齢での集まり「おやとこひろば」の日があります。(準備の都合がありますので、参加希望の方は、月ごとに申し込みをお願いします。)
- * お部屋のスペース上「てくてく」「おやとこひろば」のある日は、らっこ・はうすのお部屋は使えませんので、その日を避けてご利用ください。
- * 警報発令時、感染症流行時等はお休みさせていただくことがあります。
- * 園行事等でらっこ・はうすのお部屋が使えない時があります。園庭は開放しております。

子育て相談会
 日時：2月7日(金) AM10:00～12:00
 講師：医療カウンセラー 松戸千恵子先生
 子育ての相談はもとより、子育てで行き詰まった方や不登校、引きこもり等、乳児から成人までの相談を受け付けます。相談を希望される方は、らっこ・はうすのスタッフまでお申し出ください。

たんぼぼくらぶさんで遊ぼう!
 第五木材さんによる『たくさん積み木で遊ぼう!』
 日時・・・2月6日(木)10時～11時30分
 場所・・・ここてらすこまつ交流スペース
 事前に申し込みが必要です。たんぼぼくらぶではなく、らっこ・はうすをよく利用する方は、らっこ・はうすに申し込んで下さい。私たち支援員も同行いたします。無料ですが、6か月以上児が対象です。締め切りは1月30日(木)までです。一緒に行きましょう(現地集合)

- 1/20(月) ハビ♡すく相談室(乳幼児相談) 9:30～11:00
- 1/28(火) 3ヶ月健診(R6年9月生まれ) 13:00～受付
 - 1/22(水) 1歳6ヵ月健診(R5年6月生まれ) 13:00～受付
 - 1/21(火) 3歳児健診(R3年6月生まれ) 13:00～受付
- ※いずれも母子手帳・アンケート・バスタオルをお持ちください。